

平成25年度

事業報告書

自 平成25年4月 1日

至 平成26年3月31日

I. 法人の概要

II. 事業の概要

III. 財務の概要

学校法人 精華学園

学校法人精華学園の平成25年度の事業概要をとりまとめましたので、ご報告致します。

I. 法人の概要

1. 教育目標

本学は、自立・協調・創造を教育目標の三本柱に掲げ、自分の力でしっかりと行動できる人間、お互いの違いを尊重し相手を思いやり助け合える人間、確実な学力を身につけ柔軟な発想で新しいものを作ることができる人間、の育成に全力で取り組んでいます。

2. 学校法人の沿革

大正15年(1926) 財団法人精華実践女学校設立
昭和4年(1929) 大阪市港区より阿倍野区に移転
昭和18年(1943) 精華高等女学校と改称
昭和19年(1944) 精華高等実業女学校と改称
昭和23年(1948) 学制改革により精華技芸高等学校に改称
昭和24年(1949) 精華女子高等学校に改称
昭和58年(1983) 堺市中区辻之に泉北学舎を開校
平成8年(1996) 阿倍野学舎は泉北学舎に移転統合
精華高等学校と改称
平成10年(1998) 男子生徒募集開始し、男女共学校となる
平成13年(2001) 前期・後期の2学期制を実施
平成14年(2002) 精華学園フィールドセンター開校
平成17年(2005) 第2研修館完成
平成22年(2010) 西広場開設

3. 設置する学校

精華高等学校 普通科

所在地 〒599-8245 大阪府堺市中区辻之1517番地

4. 生徒数の状況

平成25年5月1日現在(単位:名)

学則定員数	現員数	摘要
1080	967	

5. 役員の概要

平成25年5月1日現在
理事(定員6名、現員6名)
監事(定員2名、現員2名)

理事長	藤田 曙 久(常勤)	監事	西村 明 史(非常勤)
理事(校長)	正川 昌 彦(常勤)	監事	阪田 義 澄(非常勤)
理事	森 繁(常勤)		
理事	武藤 隆 義(非常勤)		
理事	佐藤 浩 史(常勤)		
理事	隅谷 隆(常勤)		

6. 評議員の概要

平成25年5月1日現在
評議員(定員15名、現員13名)

二階堂和幸	・	横井國人	(左記2名は学校職員)
池内美智子	・	中西学美	(左記2名は本校卒業生)
藤田曙久	・	武藤隆義	} (左記9名は学識経験者)
阪本孝志	・	佐藤浩史	
森繁	・	吉村博勝	
池上祥博	・	正川昌彦	
隅谷 隆			

7. 教職員の概要

平成25年5月1日現在

教 員(教諭・嘱託・講師) 80名

職 員(常勤・非常勤) 10名

II. 事業の概要

1. 当年度の概要

当学校法人を取り巻く環境は、少子化や厳しい経済状況の中にあつて、生徒募集活動に大きな影響を受けているが、ホームページの内容の充実や教務・生徒指導・進路の三部門をはじめ学園あげでの取り組みに努めた結果、平成25年度は、募集人員320名に対し、入学者は366名を確保し、昨年度に続き一定の成果をあげた。

一方、平成25年度卒業生285名の進路状況については、大学・短大・専門学校への進学者は194名、就職者は40名、浪人・未定等は51名となったが、大学進学者の中には、現役で公立大学合格者が出るなど、進学実績をあげることが出来た。

2. コース別教育の強化

1年生は特進共通コースと特進選抜コースの二つを設定し、前者は2年生から生徒の希望により情報国際コース・環境福祉コース・スポーツ健康コース・特進総合コースの4コースから選択し、後者については、難関大学を目指して学ぶ3年間の一貫教育コースで実施した。

3. 各コースの概要

(1) 情報国際コース

コンピュータ、インターネットの急速な普及に伴い「情報」に対する認識や国際社会に対する理解が以前にも増して求められるようになった。この要請に応えるのが情報国際コースです。コンピュータや英語に親しみ、資格取得にも取り組み、社会に通用する実践的な力を育成することに努めた。

(2) 環境福祉コース

環境、福祉の2課題を関連したものにとらえ、生活環境という身近な観点から出発し、天濃池ビオトープ実習による自然との共生心を育むとともに、福祉へつながるよう学習を展開し、特に老人ホームや幼稚園・保育所等に積極的に出向き、地域社会との交流活動にも努めた。

(3) スポーツ健康コース

スポーツを通じて「する」「観る」に加えて、周りを「支える」ことを実践させ、個性に合った進路が選択出来る生徒の育成に努めた。

(4) 特進総合コース

志望大学の現役合格を目標に、生徒一人ひとりが学習意欲を高め、学力向上に努め、早朝学習、進学講座など目標達成に向けさまざまな取り組みを行い、一定の成果をあげることが出来た。

(5) 特進選抜コース

3年間の授業はもちろんのこと大学進学講座を通じて、難関大学への現役合格を目標に、基礎から応用まで密度の濃い内容でより実践的な力を身につけさせるとともに、模擬試験や漢検・英検に積極的に挑戦させる等実力アップに努めた。

4. 部活動の状況

部活動の一層の充実と活性化を図るとともに部員数を確保するための方策の一環として、学内に教頭を委員長とする「部活動推進委員会」を設置し、強化クラブを認定するなどの支援を行った。

主な成績としては、運動部では、近畿大会に卓球部・陸上部・ホッケー部が出場した。文化部では、演劇部と強化クラブに指定した吹奏楽部が全国大会に出場するという快挙をなしとげた。

5. 入学特別優遇制度の実施

学力・人物ともに優秀な者や技能優秀な部活動推薦者、また保護者が本校卒業生、兄姉が同時に在学している受験生に対して入学金等の優遇措置を講じ、入学者への支援を行った。

6. 経営力の強化

平成24年度入学生から授業料490,000円を45,200円値上げし、535,200円にするとともに、平成25年度入学志願者から入学受験料を5,000円値上げし、世間並みの20,000円にする等の努力をし、財政の健全化と経営改善に努めた。

なお、労働契約法が、平成24年一部改正され、有期労働契約について慎重な扱いが求められることになったので、非常勤講師及び非常勤技術職員の就業規則を新たに制定した。

7. 施設等の管理と整備

学校施設は、建設後30年が経過し、外壁や屋上、冷暖房施設等一部老朽化しており、順次改修や設備の更新をすすめた。

スクールバスの運行については、平成24年度から直接雇用により運行し、生徒の通学の利便性の一層の向上に努めた。

また広大なフィールドセンターの雑草処理については、引き続き(社)堺市人材シルバーセンターに委託し夏期休業中に整備した。

8. その他

学校運営の活性化と円滑化を図るため保護者会や保護者会役員経験者との連携、同窓会の支援、また学校後援会活動の応援等協力体制の強化に積極的に努めた。

また、地域社会との連携も重要であるので、各種団体の会合や催し物にも参加し、地域住民の信頼と協力を得られるように取り組んだ。

Ⅲ. 財務の概要

財務状況

収入については、平成24年度入学生から授業料を値上げし、平成25年度入学志願者から、入学受験料の値上げを行い、財政の健全化と経営改善に努め、前年度にくらべ、生徒数増加によるものもあるが、収入増となる。

支出については、学園における大きな支出は、人件費と奨学費である。制度の見直しにより、奨学費の支出をおさえることができた。

運営状況は収支超過額が収入超過となり前年度にくらべ良好であった。

財産目録

平成26年 3月31日

(単位 円)

科 目	部 門	摘 要	金 額
土地	高校		1,409,471,696
建物	高校		938,782,133
構築物	高校		11,062,292
教育研究用機器備品	高校		24,573,353
その他の機器備品	高校		61,378
図書	高校		42,536,540
車両	高校		8,802,804
電話加入権	高校		425,854
施設利用権	高校		2,997,211
退職給与引当特定預金	高校		127,361,701
現金預金	高校		249,970,055
未収入金	高校		807,554
修学旅行費預り資産	高校		19,409,847
預け金	高校		14,470
前払金	高校		153,700
資 産 合 計			2,836,430,588

長期借入金	高校		238,000,000
退職給与引当金	高校		143,444,431
長期未払金	高校		3,483,900
短期借入金	高校		62,000,000
未払金	高校		12,536,563
前受金	高校		62,600,000
預り金	高校		9,523,436
修学旅行費預り金	高校		19,409,847
負 債 合 計			550,998,177
差 引 正 味 財 産			2,285,432,411

貸借対照表

平成26年 3月31日

(単位 円)

	科 目	本年度末	前年度末	増 減
資産の部	固定資産	2,566,074,962	2,598,344,642	△ 32,269,680
	流動資産	270,355,626	256,790,762	13,564,864
	資産の部 合 計	2,836,430,588	2,855,135,404	△ 18,704,816
負債の部	固定負債	384,928,331	422,440,104	△ 37,511,773
	流動負債	166,069,846	222,824,844	△ 56,754,998
	負債の部 合 計	550,998,177	645,264,948	△ 94,266,771
基本金の部	第1号基本金	4,355,555,572	4,322,892,820	32,662,752
	第4号基本金	80,000,000	80,000,000	0
	基本金の部 合 計	4,435,555,572	4,402,892,820	32,662,752
差消費の収部支	翌年度繰越消費支出超過額	2,150,123,161	2,193,022,364	△ 42,899,203
	消費収支差額の部合計	△ 2,150,123,161	△ 2,193,022,364	42,899,203
	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部 合 計	2,836,430,588	2,855,135,404	△ 18,704,816

(注記)

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

徴収不能引当金

授業料の徴収不能に備えるため、期末未収授業料等に対し、徴収不能実績率に基づく徴収不能見込額を計上している。

退職給与引当金

期末要支給額351,191,275円から(財)大阪府私学総連合会よりの交付金相当額を控除した金額の100%を計上している。

(2) その他の重要な会計方針

預り金その他経過項目に係る収支の表示方法

預り金に係る収入と支出は相殺して表示している。

修学旅行費預り資産及び修学旅行費預り金に係る収入と支出は総額により表示している。

2. 重要な会計方針の変更等

該当事項なし

3. 減価償却額の累計額の合計額

1,998,810,111 円

4. 徴収不能引当金の合計額

21,558 円

5. 担保に供されている資産の種類及び額

土地	1,169,471,696 円
定期預金	61,409,278 円

6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 81,967,800 円

7. その他財政及び経営の状況を正確に判断する為に必要な事項

所有権移転外ファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス

・リースは次のとおりである。

①平成21年4月1日以降に開始したリース取引

リース資産の種類	リース料総額	未経過リース料期末残高
教育研究用機器備品	4,542,300円	3,512,565円
計	4,542,300円	3,512,565円

②平成21年3月31日以前に開始したリース取引

なし

資金収支計算書

平成25年 4月 1日

平成26年 3月31日

収入の部

(単位 円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	291,200,000	291,204,735	△ 4,735
手数料収入	21,930,000	21,935,200	△ 5,200
寄付金収入	7,000,000	6,801,400	198,600
補助金収入	549,683,065	549,335,065	348,000
資産運用収入	695,000	695,689	△ 689
事業収入	7,900,000	7,917,980	△ 17,980
雑収入	1,400,000	1,786,796	△ 386,796
前受金収入	58,000,000	62,600,000	△ 4,600,000
その他の収入	92,577,820	93,492,532	△ 914,712
資金収入調整勘定	△ 65,000,000	△ 64,829,112	△ 170,888
前年度繰越支払資金	203,132,883	203,132,883	
収入の部合計	1,168,518,768	1,174,073,168	△ 5,554,400

支出の部

(単位 円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	579,600,000	578,793,274	806,726
教育研究経費支出	92,700,000	90,219,912	2,480,088
管理経費支出	36,355,000	35,833,735	521,265
借入金等利息支出	9,240,000	9,238,822	1,178
借入金等返済支出	63,000,000	63,000,000	0
施設関係支出	8,000,000	7,996,590	3,410
設備関係支出	8,900,000	8,736,764	163,236
資産運用支出	51,150,000	52,474,815	△ 1,324,815
その他の支出	87,653,700	86,861,864	791,836
[予備費]	5,000,000		5,000,000
資金支出調整勘定	△ 7,600,000	△ 9,052,663	1,452,663
次年度繰越支払資金	234,520,068	249,970,055	△ 15,449,987
支出の部合計	1,168,518,768	1,174,073,168	△ 5,554,400

消費収支計算書

平成25年 4月 1日

平成26年 3月31日

消費収入の部

(単位 円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	291,200,000	291,204,735	△ 4,735
手数料	21,930,000	21,935,200	△ 5,200
寄付金	7,000,000	6,801,400	198,600
補助金	549,683,065	549,335,065	348,000
資産運用収入	695,000	695,689	△ 689
事業収入	7,900,000	7,917,980	△ 17,980
雑収入	1,400,000	1,797,758	△ 397,758
帰属収入合計	879,808,065	879,687,827	120,238
基本金組入額合計	△ 32,500,000	△ 32,662,752	162,752
消費収入の部合計	847,308,065	847,025,075	282,990

消費支出の部

(単位 円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	591,500,000	606,765,401	△ 15,265,401
教育研究経費	145,700,000	142,938,835	2,761,165
管理経費	45,355,000	44,716,610	638,390
借入金等利息	9,240,000	9,238,822	1,178
資産処分差額	0	466,204	△ 466,204
[予備費]	5,000,000		5,000,000
消費支出の部合計	796,795,000	804,125,872	△ 7,330,872
当年度消費収入超過額	50,513,065	42,899,203	
前年度繰越消費支出超過額	2,193,022,364	2,193,022,364	
翌年度繰越消費支出超過額	2,142,509,299	2,150,123,161	

監 査 報 告 書

学校法人 精 華 学 園
理事長 藤 田 曙 久 様

平成 26 年 5 月 9 日

監 事 西 村 明 史 印

監 事 阪 田 義 澄 印

私達は、平成25年度(自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)会計年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査概要の手続

(1) 会計監査について

帳簿並びに関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続を用いて、計算書類の正確性を検討した。

(2) 業務監査について

理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務報告を聴取し、関係書類閲覧等必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

(1) 収支計算書、貸借対照表及び財産目録の数値は、当然会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状況を正しく示していると認める。

(2) 理事の職務執行に関する不正行為、又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないと認める。

以 上